所属・氏名（総合リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　氏名：徳森　公彦）

著書、学術論文等の名称		単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
1	（学術論文） 岡山県矢掛町における高齢者の移動手段と県内バス会社のノンステップバス導入状況 《筆頭論文》	共著	2006年7月	福祉のまちづくり研究 Vol.8 No.1	同町における高齢者の公共交通使用情況と県内のノンステップバスの導入状況を調査。交通バリアフリー法改正の必要性を提案した。(7 ページ) 徳森公彦、汪　達紘
2	（学術論文） 高齢者における転倒評価スケールの検討～転倒予防・易転倒性評価における全身反応時間測定の意義～ 《筆頭論文》	共著	2006年10月	日本予防医学会雑誌 Vol.1 No.1	全身反応時間測定は、他の転倒評価スケールと相関があり、介護予防や転倒予防のスクリーニング検査として利用できる可能性を指摘した。(7ページ) 徳森公彦、小島真二、坂野紀子、岡　隆、平田宰久、汪　達紘、荻野景規
3	（学術論文） Questionnaire in Evaluation of Exercise Capacity of Community-Dwelling Japanese Elderly	共著	2006年11月	Environmental Health and Preventive Medicine Vol.11, No.6,.	Veterans Specific Activity Questionnaire (VSAQ) を用いたアンケートによる運動耐用能評価の適合度の検討と、日本人高齢者向け Modified-VSAQ の作成の試み。(8ページ) S.KOJIMA, D.H.WANG, K.TOKUMORI, N. SAKANO, Y.YMASAKI, Y.TAKEMURA, C.M. KUROSAWA, S.KANBARA, T.OKA, K.HARA, S.IKEDA and K.OGINO
4	（学術論文） 高齢者に対する運動および知識介入による身体機能変化の比較～介入方法の違いによる変化量比較のための予備的研究～ 《筆頭論文》	共著	2008年3月	第21回中国ブロック理学療法士学会学会誌	高齢者に対する身体機能変化を目的とした介入方法として、運動介入および知識介入の有効性を比較するための予備的研究を実施した。(2 ページ) 徳森公彦、小島真二、坂野紀子、岡隆、原浩平、荻野景規
5	（学術論文） 保健指導に対する行動変容難渋者のセルフモチベーションテストによる予測	共著	2008年	人間ドック Vol.22 No.5	行動変容の意思を評価するスケールとしてのセルフモチベーションテストの有効性を検討した。(6ページ) 小島真二、徳森公彦、池田敏、神原咲子、野崎真奈美、小牧久和子、藤井昌史